

安全データシート (SDS)

作成： 2016年 9月 8日

改訂： 2025年 1月 1日

1. 【化学品及び会社情報】

製品名 : P K - 1 0 0 ブチルゴムシーラー
会社名 : 三喜工業株式会社
住所 : 千葉県千葉市中央区今井 1 - 4 - 1 6
担当部門 : 企画開発部
電話番号 : 0 4 3 - 2 6 2 - 8 1 0 0
FAX番号 : 0 4 3 - 2 6 3 - 2 6 3 8
緊急連絡先 : 0 4 3 - 2 6 2 - 8 1 0 0
推奨用途及び使用上の制限 : 一般工業用途・シール材
整理番号 : S E 2 4 0 6 1 3 2

2. 【危険有害性の要約】

G H S 分類 : 区分に該当しない/分類出来ない
G H S ラベル要素
絵表示 : なし
注意喚起語 : なし
危険有害性情報 : G H S 分類に該当しない
注意書き : G H S 分類に該当しない

3. 【組成及び成分情報】

化学物質・混合物の区分 : 混合物
化学名又は一般名 : 再生ブチルゴム系シーリング材

成分及び含有量

成分	含有量 (重量%)	CAS番号	官報公示整理番号 (化審法)
再生ブチルゴム	28～38	—	6-1098
無機充てん剤	40～55	471-34-1 他	1-122
石油系炭化水素 (鉱油)	5～10	非開示	
その他添加剤	8～17	—	

危険有害成分

化学物質排出把握管理促進法 (P R T R 法) : 非該当

労働安全衛生法

名称を表示すべき有害物 : 鉱油、カーボンブラック (再生ブチルゴムに含有)

名称を通知すべき有害物 : 鉱油、カーボンブラック (再生ブチルゴムに含有)

毒物劇物取締法 : 対象物ではない

4. 【応急措置】

- | | | |
|--------------------------|---|---|
| 吸入した場合 | ： | 新鮮な空気のある場所に移すこと。呼吸のしやすい姿勢で休憩させ、必要に応じて医療処置を受けること。 |
| 皮膚に付着した場合 | ： | 皮膚刺激があれば、医療処置を受けること。 |
| 眼に入った場合 | ： | 清浄な水で十数分間注意深く洗うこと。
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
眼の刺激が持続する場合は、医療処置を受けること。 |
| 飲み込んだ場合 | ： | 口をすすぐこと
無理に吐かせないで、医療処置を受ける。 |
| 最も重要な兆候及び症状
に関する簡潔な情報 | ： | 吸入した場合、気分が悪くなることがある。
皮膚接触した場合、炎症を起こす可能性がある。
飲み込んだ場合、下痢、嘔吐する可能性がある。 |
| 応急措置をする者の保護 | ： | 有用な情報なし。 |
| 医師に対する特別注意事項 | ： | 有用な情報なし。 |

5. 【火災時の措置】

- | | | |
|--------------|---|---|
| 適切な消火剤 | ： | 粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素、霧状の強化液等が有効である。 |
| 使用してはならない消火剤 | ： | 棒状の水を用いてはならない。火災を拡大し危険な場合がある。 |
| 火災時の特定危険有害性 | ： | 有用な情報なし。 |
| 特有の消火方法 | ： | 火元への燃焼源を断つ。
周囲の設備等に散水して冷却する。
火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。 |
| 消火を行う者の保護 | ： | 消火作業の際は、風上から行い、必ず保護具を着用する。 |

6. 【漏出時の措置】

- | | | |
|----------------------------|---|--|
| 人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置 | ： | 除去作業の際には必ず適切な保護具を着用する。
大量の場合、漏出した場所の周辺にロープを張るなどして、関係者以外の立ち入りを禁止する。 |
| 環境に対する注意事項 | ： | 河川、下水道等に排出されないよう注意する。 |
| 回収、中和並びに封じ込め
及び浄化の方法・機材 | ： | 周辺の着火源を速やかに取り除く。
少量の場合は、土砂、ウエス等に吸収させ回収し、その後を完全にウエス等で拭き取る。
大量の場合、漏出場所の周辺にロープを張るなどして、関係者以外の立ち入りを禁止する。
盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて回収する。 |
| 二次災害の防止策 | ： | 全ての発火源を速やかに取り除く（近傍での喫煙、火花や火炎の禁止）。
排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流出を防ぐ。 |

7. 【取扱い及び保管上の注意】

- | | | |
|-------|---|---|
| 取扱い | ： | |
| 技術的対策 | ： | 数量3,000kg 以上については指定可燃物に該当する。
指定数量以上の量を取扱う場合には、法で定められた基準に満足する製造所、貯蔵所、取扱所で行う。
取扱いには適切な保護具を着用する。 |

局所排気・全体換気 安全取扱い注意事項	: 必要に応じて、局所排気、全体換気を行う。 : 周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。 接触、吸収又は飲み込まないこと。 眼に入れないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 環境への放出を避けること。
接触回避	: 強酸化物との接触を避ける。
保管	
安全な保管条件	: 熱、花火、裸火のような着火源から離して保管すること。禁煙のこと。 酸化剤から離して保管すること。
混触危険物質	: 特になし
安全な容器包装材料	: 特に制約なし

8. 【ばく露防止及び保護措置】

管理濃度	: 設定されていない。
許容濃度（日本産業衛生学会）	: 3m g/m ³ （鉱油ミスト）
（ACGIH）TWA	: 5m g/m ³ （溶剤精製高粘土ナフテン・吸収濃度）
設備対策	: 蒸気が発生する場合は発生源の密閉化、又は排気装置を設ける。 取扱い場所の近辺に、洗眼及び身体洗浄のための設備を設ける。
保護具	
呼吸器用保護具	: 蒸気が発生する場合、必要に応じて防毒マスク（有機ガス用）を着用する。 密閉された場所では、送気マスクを着用する。
手の保護具	: 必要に応じて耐油性保護手袋を着用する。
眼の保護具	: 必要に応じて、保護眼鏡を使用する。
皮膚及び身体の保護具	: 必要に応じて、耐油性保護長靴、防災面、保護衣等を着用する。

9. 【物理的及び化学的性質】

物理的状態	
形状	: シート状
色	: 黒色
臭い	: 微臭あり
沸点又は初留点及び沸騰	: データなし
範囲可燃性	: 火を付ければ燃える
爆発下限界及び爆発上限	: データなし
界／可燃限界	
引火点	: データなし
自然発火点	: データなし
分解温度	: データなし
pH	: データなし
動粘性率	: データなし
蒸気圧	: データなし
密度及び／又は相対密度	: 1.30～1.55
相対ガス密度	: データなし
粒子特性	: データなし

10. 【安定性及び反応性】

反応性	： 通常の保管、使用で分解することはない。
化学的安定性	： 常温、常圧で安定である。
危険有害反応可能性	： 推奨保管条件下で安定である。
避けるべき条件	： 強酸化剤と接触を避ける。
混触危険物質	： 強酸化剤と接触すると反応する可能性がある。
危険有害な分解生成物	： 燃焼の際は、煙、一酸化炭素等が発生される。

11. 【有害性情報】

急性毒性	： データなし
皮膚腐食性/刺激性	： データなし
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	： データなし
呼吸器感作性	： データなし
皮膚感作性	： データなし
生殖細胞変異原性	： データなし
発がん性	： 使用している鉱油は、高度精製鉱油であり、I R A Cではグループ3に分類（ヒトに対して発がん性について分類できない）と評価されていることから、分類出来ないとした。
生殖毒性	： データなし
特定標的臓器（単回ばく露）	： データなし
特定標的臓器（反復ばく露）	： データなし
誤えん性有害性	： 区分に該当しない

12. 【環境影響情報】

生態毒性	
水生環境有害性 短期（急性）	： データなし
水生環境有害性 長期（慢性）	： データなし
残留性・分解性	： データなし
生態蓄積性	： データなし
土壌中への移動性	： データなし
オゾン層への有害性	： 区分に該当しない

13. 【廃棄上の注意】

残余廃棄物	： 廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共 団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
汚染容器及び包装	： 内容物を完全に除去した後に産業廃棄物として処理する。

14. 【輸送上の注意】

国際規制	
国連分類、品名等	： 非該当
国連番号	： なし

国内規制	下記、各法の規定に従った容器、積載方法により輸送する。
陸上輸送	： 消防法、危険物に該当しない。3000kg以上は指定可燃物（可燃性固体物）
海上輸送	： 船舶安全法、非該当
航空輸送	： 航空法、非該当

15. 【適用法令】

国内法令	
消防法	： 危険物に該当しない。3000kg 以上は指定可燃物（可燃性固体類）
化学物質管理促進法(PRTR)	： 非該当
労働安全衛生法	
名称を通知すべき有害物	： 鉱油、カーボンブラック（再生ブチルゴムに含有）
名称を表示すべき有害物	： 鉱油、カーボンブラック（再生ブチルゴムに含有）
毒物劇物取締法	： 対象物ではない

16. 【その他の情報】

記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項等は、通常の実施を前提としたものであって、特別な取扱いをする場合は用途・用法に適した安全対策を実施の上、取扱いをお願い致します。

危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、注意して取扱いをお願い致します。